

CPD単位の取得について

CLA事務局

社会の国際化が進み、より複雑で、かつ急激に変化している中で、高い倫理観と専門能力をもつ技術者の役割はますます大きくなっています。こうしたことを背景に、技術者が継続的に専門能力を伸ばしてゆくことが求められるようになってきました。

CPD (Continuing Professional Development) とは、継続的専門能力開発、すなわち「継続教育」のことで、先の要求に応えられるように、技術者一人ひとりの継続的な専門能力の開発を支援し、その実施状況を証明する制度です。

この「かんたんガイド」は、これからCPD単位の整理を行うCPD初心者向けに作成しています。この資料だけでCPDの登録から証明書請求等の一連の事項が解るよう配慮していますが、詳しくは「造園CPDガイドブック第4版」(後述)を参照して下さい。

1. 造園CPD制度とは

- ・造園CPD制度は、オフィシャルな立場にある(公社)日本造園学会が中心となり、造園関連の22団体が参加した「造園CPD協議会」により運営されているもので、(公社)土木学会や(公社)地盤工学会などの建設関連の17学協会が参加している「建設系CPD協議会(下記参照)」と連携しているものです。
- ・CPDは、公共事業の入札ならびにTECRIS(測量調査設計業務情報サービス)やCORINS(工事実績情報サービス)等の「技術者評価」に利用され、ますますその重要性が高まっています。
- ・造園CPD制度は、インターネット上で事務処理を行っているため、インターネットを利用できることがCPD会員の原則的な条件となっています。
- ・造園学会のホームページから造園CPDのページに入ることができます。
(<https://service2.kktcs.co.jp/lacpd/hp/Main.htm?id=1>)
- ・このかんたんガイドをひととおり読み終えたら、アクセスしてみて下さい。もっと詳しくCPD制度について知りたい場合は、まず「造園CPDガイドブック第4版」をお読み下さい。

建設系CPD協議会加盟団体(18団体:2014年12月現在)

(公社)空気調和・衛生工学会、(一財)建設業卯振興基金、(一社)建設コンサルタンツ協会、
(公社)地盤工学会、(一社)森林・自然環境技術者教育会、(一社)全国上下水道コンサルタント協会、
(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、(公社)土木学会、
土質・地質技術者生涯学習協議会(事務局:(一社)全国地質調査業協会連合会)、
(一社)日本環境アセスメント協会、(公社)日本コンクリート工学会、(公社)日本技術士会、
(公社)日本建築士会連合会、(公社)日本造園学会、(公社)日本都市計画学会、
(公社)農業農村工学会、

建設系CPD協議会ホームページ <http://www.cpd-ccesa.org/>

2. 造園CPDページのトップ画面

- ・このページの左側の「MENU」から必要な情報を入手することができます。
 - お知らせ
 - 造園CPDの概要
 - 新規入会申込・新規登録
 - ガイドブック
 - CPD単位表とエビデンス
 - 認定プログラム一覧
 - Q&A
 - プログラム認定の申請
 - リンク
 - 実施記録証明書の申請（造園CPD取得証明書）
 - お問い合わせ窓口
 - 用語解説
- ・CPD会員専用ページは「ログイン」から自分のページ入ることができます。
ログインすると、自分の取得単位の検索や自己登録単位の登録ができます
ログインするためには、ログインIDとパスワードが必要です
ただし、一度登録すると、後は「ログイン」ボタンをクリックするだけです

3. 造園CPD制度への新規入会と継続

- ・造園CPD制度への新規入会は、毎年5月と10月にCLA事務局からご案内する会員募集に応募して、入会して下さい。CLA事務局を通すことにより、「会員－2」で登録することができます、年会費は2,500円となります。
- ・上記期間以外での入会は各個人にて行うこととなり、学会CPD事務局へ直接申込むことで、年会費割引の無い「会員－3」（年会費：4,000円）となります。
- ・なお、(公社)日本造園学会などに所属している方は「会員－1」となり、年会費は免除となります。下記団体に所属している方は、そちらをご利用下さい。

(公社)日本造園学会、(公財)都市緑化機構、(一社)日本公園緑地協会、
一造会（全国1級造園施工管理技士の会）、千葉大学園芸学部二葉会、東京農業大学緑友会

- ・5月、10月いずれの時期に入会されても、入会年度の4月1日に遡ってCPD単位を登録することができます。
- ・また、CPD会員を継続する方も、5月（10月も可能）の会員募集時に、必ず「継続のご意志」をお申込み下さい。継続の申請がなされまないと、CLA事務局から造園学会へ、継続の申請ができません。その結果、その年度に取得したCPD単位についての証明書が発行されないこととなりますので、ご注意ください。
- ・年会費が未納の場合も、「継続の意思が無いもの」と判断され、上記と同様に、その年度に取得したCPD単位についての証明書が発行されないこととなりますので、ご注意下さい。

4. 会員カードと本登録

- ・造園CPD制度へ新規入会された方には、会員カードが送られてきます。ただし、会員カードを持っているだけでは、造園CPDの正式な会員になっていません。
- ・造園CPD制度を利用するためには、会員カードと一緒に送られてきたIDと仮パスワードにより造園CPD制度のホームページから造園CPD会員として「**本登録**」する必要があります。
STEP 1 : 「新規入会申込・新規登録ページ」の「初回登録ページ」に入って下さい。
STEP 2 : 画面の指示に従い、団体名・ID (12桁の数字) と仮パスワードを入力して下さい。
STEP 3 : 画面の指示に従い、新規パスワードを入力して本登録を完了させます。
- ・また、会員カードを紛失してしまった方は、学会のCPD事務局に再発行手続きを行って下さい。1,500円/枚で再発行してくれます。これは、通年受付けています。

5. CPD単位の取得方法

- ・CPD単位は、CPDに実質的に費やした時間や成果に対し、実施難易度や効果を勘案した「**重み係数**」を乗じて算出します。例えば、受講などは原則1時間1単位ですが、同じ1時間でも受講に比べ発表や講師はCPD効果が高く、それ以上の単位が取得できます。
- ・造園CPDの実施に際しては、その分野や内容に偏りが無いようバランス良く、かつ計画的に実施することが理想です。また、**50単位以上/年の取得が推奨単位**となっています。
- ・CPD単位の計算例
 - ・シンポジウムを3時間聴講した : 実時間3時間 × 重み係数 1 = 3単位
 - ・学会で20分間口頭発表した : 実時間20分 × 重み係数0.2 = 4単位
 - ・設計コンペに応募した : 準備時間を含めて1件あたり 10単位
 - ・社内研修会で90分間講師をした : 準備時間を含めて1件あたり 3単位
 - ・作品コンクールに出展した : 責任者は作品1件につき 10単位
 - ・図書、ホームページへの掲載 : 責任者のみ、作品1件につき 5単位
 - ・技術図書を3時間学習した : 実時間3時間 × 重み係数0.5 = 1.5単位
(端数が出る場合は四捨五入して少数第一位止めとします)
- ・具体的な単位等については、学会CPDページの「CPD単位表とエビデンス」を参照して下さい。
- ・このようなCPD内容と単位をWEB上の記録簿に登録します。登録は、原則として**自己登録**です。詳細は後述しますが、WEB上からの自己登録と、受講会場で会員カードをカードリーダーに通した場合の、二通りの併用となります。
- ・前者の場合は受講したこと、あるいは実施したことを証明する**エビデンス**（証拠書類）が必要となります。後者の場合は自動登録ですのでエビデンスは必要ありません。必要となるエビデンスの内容については、先の「CPD単位表とエビデンス」を参照してください。
- ・日本造園学会に、CPD実施記録登録証明書を申請し、証明書を手にして初めて単位取得が証明されたこととなります。

9. 単位の足りない方へ

- ・CPD単位が50単位／年に満たない場合、推奨単位を満たしていることにならず、社会的な意味を持ちません。以下の事項に踏まえて、十分な対策をお願い致します。

■多様な単位取得方法があります。

教育形態表をじっくりご覧ください。

かなり具体的かつ多様な学習、教育活動等の形態が記載してあります。この表より該当する活動を探してみてください。例えば、ボランティア活動や協会や財団などでの研究会に定期的に参加した場合なども単位となります。

■社内研修プログラムの受講も単位になります。(教育形態番号 310、435)

例えば、社内で計画的、組織的に実施した「業績発表会」や「先進事例見学会」などを行い、それに参加した場合は単位記載可能です。その講師を務めれば、1時間について2単位、年間最大10単位取得できます。

■RLAの試験問題を作成、審査、採点した場合も単位となります。(教育形態番号 455)

単位は、費やした時間に対し1時間1単位です。採点は毎年秋に行いますが、その会場で採点をした時間を単位として記載可能です。但し、昼食時間、休憩時間は除いて下さい。1回につき、7～8単位にはなりません。問題作成は30～40時間を上限としていますが、会議に参加した時間だけではなく自宅等で作業した時間も単位となります。

■協会や機構等の技術開発、技術会議等への出席も単位になります。(同 440、445、610)

委員や幹事などの立場で技術会議や研究会等に参加した場合も単位になります。

■自己学習も単位になります。(教育形態番号 620)

専門雑誌の講読等も単位になります。また、ボランティア活動などについても自己学習として認められます。ただし、自己学習は年間10単位が上限となります。

10. とにかく自己登録（入力）を体験してみましょう！

- ・繰り返しますが、
- ・造園CPDの単位の登録は、以下の2通りありますが、基本的に大半は、自己登録となります。
 - ①自己登録（自分で入力：基本的には大部分の単位が自己登録になります。）
 - ②自動登録（講習会場でカードリーダーにカードを通した場合のみ。）
- ・すなわち、造園CPDのホームページから、WEB上で実施記録を登録することとなります。下記の画面より、指示に従って入力しましょう。
- ・この「RLA用かんたんCPDガイド」をもう一度読み直し、入力体験してみましょう。
- ・「ログイン」から、一度入力画面になればあとは画面の指示に従って簡単に入力できます。
- ・間違っても入力しても、あとから修正できます・・・。
- ・恐れずに、**Let's Try!**

■CPD記録の入力画面

The screenshot shows a web form for entering CPD records. The form includes fields for '活動日' (Activity Date), '活動時間' (Activity Time), '活動内容' (Activity Content), and '単位' (Units). A callout box points to the '活動分野' (Activity Field) dropdown menu, which is currently set to '10-造園のCPD記録プログラムである「講習会、研修会、セミナー等」」。 The callout box contains the text: '教育分野は適宜選択 活動分類は単位表を見て'.

教育分野は適宜選択
活動分類は単位表を見て

1 1. かんたん入力ガイド

1. 造園学会 HP の造園 CPD 制度ページからログインします

- ・造園 CPD 会員マイページが開き、そこに、CPD 取得単位の一覧表があります。
- ・現在の CPD 取得状況を確認します。(50 単位/年に対し、何単位不足しているか)
- ・「明細」を見れば、その詳細が解ります。

2. 自分の過去の日程表と認定プログラム一覧を比較します

- ・ログアウトして、造園 CPD 制度ページの MENU にある認定プログラム一覧をクリックして、認定プログラム一覧ページの「認定プログラム総覧」を呼び出し、別ページで見れるようにしておきましょう。
- ・再度ログインして自己登録ページを開きます。
- ・自分が参加した認定プログラムの認定番号(左端にある)をコピーして、自己登録の認定プログラム No に張り付け、**↵**を押すと、必要事項が自動的に入力されます。
- ・一番下にある「確認画面へ」を押すと入力画面になり、一番下にある「登録」を押すと登録されます。後は、これを、ひたすら繰り返します。

3. その他の過去の行動から、公的性格が強そうなイベントを探します

- ・教育形態一覧表と見比べて、自分が参加したイベントが、該当しそうな番号と内容を探します。注や例示で該当するか否かを確認します。
- ・その内容を、自己登録ページで入力して、登録します。後は、これをひたすら繰り返します。

4. それでも足りない場合は自分が関わったと主張できるイベントを探し、登録します

- ・例えば、CLA 賞受賞作品にメンバーとして参加する。(No506、CLA 賞受賞者で連名者)
- ・例えば、会社内で実施した(とする)「業績発表会」への参加。(No310、企業内研修プログラムの受講) 等々

5. 最後は、エビデンスの準備です

- ・上記 2～4 の自己登録には、全てエビデンスが必要です。
- ・2 の場合、イベント主催者が、カードリーダーで読み取った以外にも、参加者名簿を保持しておくことが義務付けられています。参加名簿への記載を忘れたとしても、話が通じる場所に頼んで、参加者名簿に付け加えてもらいましょう。
- ・その参加者名簿を入手して、「取得単位」ページの各項目の左側にある「編集」で、自己登録ページの下側にある添付資料に、登録しておけば、全て終了です。
- ・または「参加証明書」を発行してもらうか、自分で作成して押印してもらう方法もあります。
- ・もらった参加者名簿等を PDF 化して、パソコンのデスクトップに置いておき、添付資料の左にある「参照」で探して、**↵**すれば、ファイルが登録されます。
- ・3 は、自分の名前と開催日・時間が記された「議事録」をエビデンスとします。
- ・議事録が無い場合は、委嘱状や開催案内書と、参加した証拠が必要です。
- ・4 は、マイページの中段ぐらいにある「造園 CPD 受講・自己登録証明書」で、証明します。青字をクリックすれば書式がでます。会社代表に証明してもらえば良い訳ですから、いくらだって作れます。
- ・エビデンスの用意に手間取りそうなものは削除して、50 単位に足りない場合は別メニューで補いましょう。後々、証明書発行時に学会からの指摘で削除する場合も考えて、55～60 単位ぐらいにしておく心安です。

千里の道も一歩から